

【災害に備えて考えてみませんか】

大正 12 年 9 月 11 日、関東地方を震源としたマグニチュード 7.9 の関東大震災が発生しました。2011 年（平成 23）3 月 11 日は東日本大震災が発生したことは記憶に新しいのではないのでしょうか。

十思保育園は建物などに大きな被害はなかったものの、とても大きな揺れで慌てたそうです。子ども達は午睡あけでしたが職員と一緒に避難し、落ち着いてから保育園に戻りました。保護者の方々のお迎えも大変時間がかかったようです。

近年では地震や豪雨などが増え、災害対策をおこなっているご家庭も多いと思います。保育園では毎月 1 回の避難訓練を行っています。大小の地震、火災、地震による火災、水害などを想定し、非常階段を使った外への避難訓練も実施しています。

今年度は様々な時間帯に行うことや、担当職員以外、日時などは内緒にして出来る限り本当の災害時に近い想定で行う計画を立て、実践しています。

人間は非常時に普段やっていることしか出来ないそうです。

「まさか来ないだろう」ではなく、「いつ来てもおかしくない」という意識を持っておくことが大切です。

避難訓練後には子ども達に毎回、なぜ避難訓練をおこなったのか、避難する時に大切な『お・か(は)・し・も・ち』を伝えています。

ひなん たいせつ やくそく 避難をするときの大切な約束



子ども達はこの約束をよく覚えており、訓練が始まると、火災なら煙を吸わないよう口もとを手で覆い、地震の時には机の下に隠れるということが自分達で出来るようになってきています。

火災や水害では「どうやって一刻も早く逃げるか」、地震では「揺れた瞬間にどう身を守るか」が命に大きく関わってきます。

家で起こった時や揺れが大きくなった時にも、このような知識を知っているかいないかでは全く違ってくると思います。『自分の身は自分で守る』ことが大切です。

ご家庭でも、もう一度避難グッズなどを見直してみてもいいでしょうか。

◎命をつなぐのに必要不可欠な食事。

- ・食べ慣れたもの、気持ちを落ち着かせるためのおやつなども準備しておきましょう。また防災食を試食してみるのもいいですね。保育園では年に 1 度マジョラムクラスで非常食の作り方を見せ、おやつで提供しています。

◎簡易トイレの準備。

- ・人は安心して排泄できないと、水分、食事もとる気持ちにならないそうです。

◎散歩のついでに

- ・電話ボックスを見つけたら 10 円やテレホンカードでパパやママに電話をかけてみる。
- ・避難所の場所（学校や自治会館など）の確認をする。
- ・「上から落ちてきそうな物なーんだ？」「地震で壊れそうな壁はあるかな？」などクイズ形式で学んでみる

他にもたくさんあると思います。

私達大人は子どもを守ることはもちろん大事ですが、様々な場所や状況で「今この瞬間に揺れたら、自分と子どもをどうやって守る？」「今、火災が起こったらどうする？」と考える癖をつけ、子どもと一緒にたくさんの選択肢を持てるようにしておきたいものですね。

9月の避難訓練は【引き取り訓練】です。

災害による引き取りが必要となった場合を想定し、引き取りの流れを実際におこなうものです。お仕事の都合がつく場合にはぜひご参加下さい。（詳細はえんだよりをご覧ください。）



★東京ガス「キッズ防災」サイト

<https://www.tokyo-gas.co.jp/network/bousai/index.html>

★防災体験学習

[防災体験学習（そなエリア東京）](#) | [東京臨海広域防災公園（tokyorinkai-koen.jp）](#)

（武田）